



《弘法大師伝》

弘法大師の本名は空海といいますが。宝龜五年（七七四年）か、その一年前の四年の生まれで、六月十五日に誕生したというのは、空海の師匠の恵果の師匠である不空（大広智）、つまり佛教の上でのオジサンおじさんの死亡した日に、生まれかわったという信仰から、鎌倉時代ごろより、空海は宝龜五年六月十五日生まれと言われるようになってきました。

誕生地は現在の香川県善通寺市の、現在、善通寺の処とされています。またの一説に海岸寺のあたりとも言われていますが、産屋うぶやを生活している処より他に設けるといふ日本の民俗から見ると、この説も決して否定できません。

誕生日がいつであるかなどということは明治以降、ヨーロッパの習俗が取り入れられてから言い出されたことです。

また誕生地についても、国名と郡名とが、わかっていけば、それで良いのです。何故かという、空海のころは国と郡だけで、それ以外はなかったのです。